

令和5年8月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,817	9,083	4,595	4,488	△ 8	△ 6
2 千 石	4,173	6,917	3,483	3,434	3	19
3 内 山	5,736	7,940	4,254	3,686	0	△ 9
4 大 和	3,614	6,735	3,331	3,404	21	32
5 上 野	7,531	15,509	7,570	7,939	17	18
6 高 見	7,345	13,234	6,321	6,913	2	0
7 春 岡	6,991	10,959	5,797	5,162	8	12
8 田 代	11,358	21,904	10,458	11,446	36	56
9 東 山	10,335	19,033	9,287	9,746	△ 14	△ 21
10 見 付	4,563	8,488	4,261	4,227	△ 44	△ 58
11 星 ケ 丘	3,576	6,830	3,045	3,785	9	4
12 自 由 ケ 丘	3,539	7,187	3,272	3,915	3	3
13 富 士 見 台	6,506	15,103	6,847	8,256	△ 5	△ 17
14 宮 根	3,831	8,060	3,728	4,332	9	4
15 千 代 田 橋	3,741	8,248	3,867	4,381	△ 6	△ 11
千 種 区 計	88,656	165,230	80,116	85,114	31	26
R4. 8. 1	87,710	165,033	80,097	84,936	65	23
対 前 年 比	946	197	19	178	△ 34	3
名 古 屋 市	1,155,283	2,326,104	1,141,620	1,184,484	845	422
愛 知 県 (R5. 7. 1)	3,321,308	7,481,863	3,725,578	3,756,285	1,518	△ 854

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	93	140	△ 47	1,000	927	73

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015		
平成7年	148,847	平成27年	164,696	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区内の地下鉄各駅の乗車人員の状況

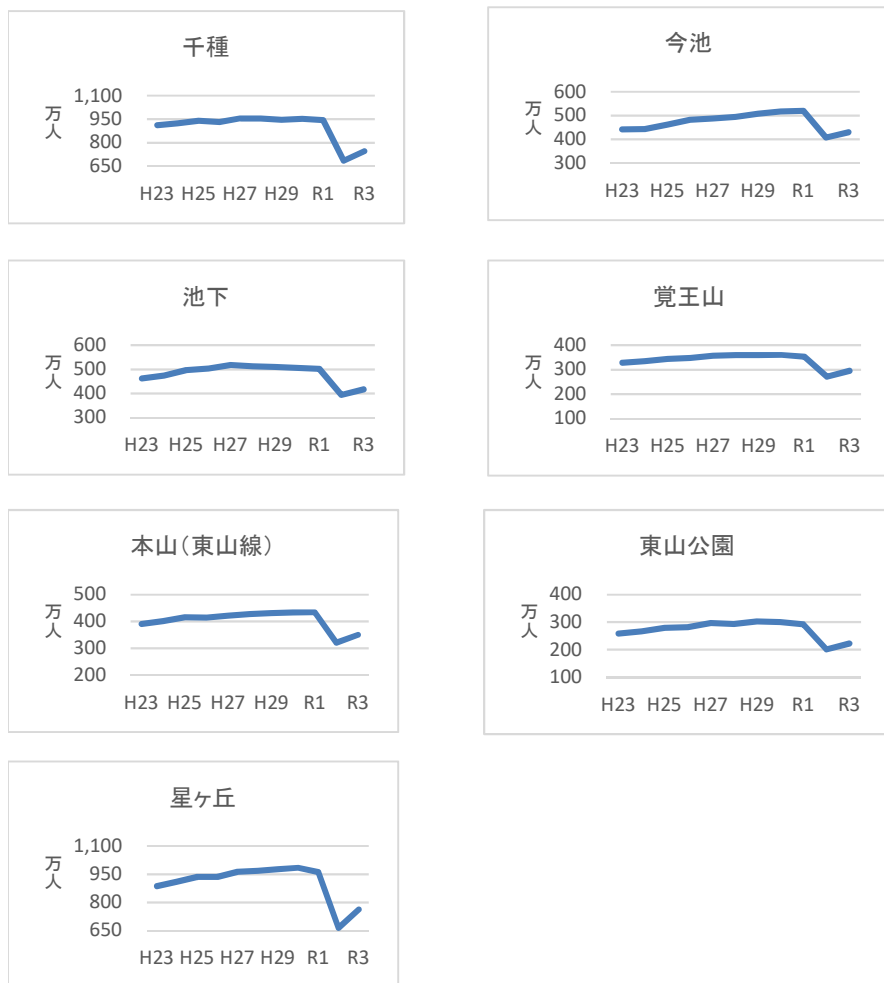


図 1：千種区内の東山線各駅の乗車人員数

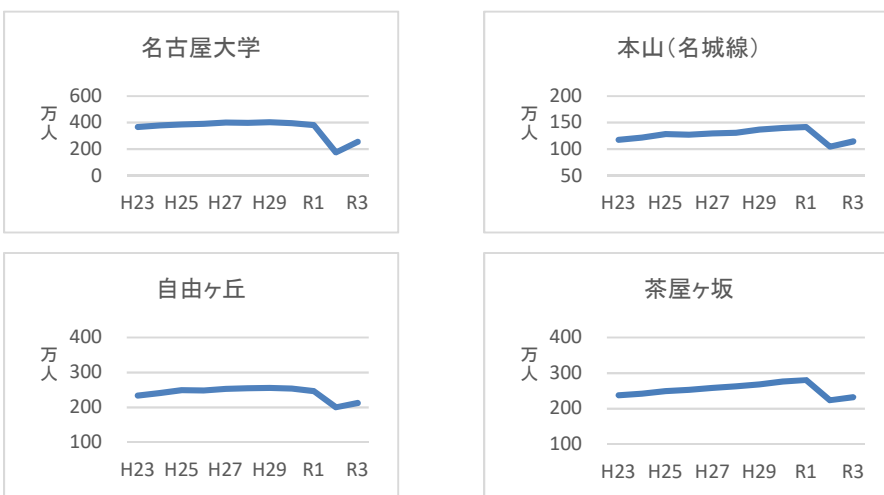


図 2：千種区内の名城線各駅の乗車人員数



図 3：千種区内の桜通線各駅の乗車人員数

今回は、千種区内にある地下鉄各駅の乗車人数の状況を見てみます。

まず、千種区を東西に横断している東山線を見てみると、令和3年度の乗車人員数は、多い順に星ヶ丘（約762万人）、千種（約747万人）、今池（約429万人）、池下（約417万人）、本山（約350万人）、覚王山（約295万人）、東山公園（約222万人）となっています。

令和3年度はすべての駅で乗車人員数が増加していますが、ピーク時の平成30年度の乗車人員数まで回復していません。特に、星ヶ丘と千種は平成30年度の乗車人員数と比べると約23%から21%減少しており、新型コロナウイルス感染症がもたらした生活様式の変化の大きさがうかがえます。（図1）

つぎに、千種区を南北に縦断する名城線を見てみると、令和3年度の乗車人員数は、多い順に名古屋大学（約256万人）、茶屋ヶ坂（約231万人）、自由ヶ丘（約212万人）、本山（約114万人）となっています。

東山線と同様に、すべての駅で乗車人員数が増加しています。特に名古屋大学は乗車人員が令和2年度と比較して約174万人から256万人と約47%増加しています。一方、令和2年度は令和元年度の50%以下の乗車人員数でしたので、新型コロナウイルス感染症の影響を一番大きく受けていると言えます。（図2）

最後に桜通線を見てみると、令和3年度の乗車人員数は、多い順に今池（約293万人）、吹上（約215万人）です。こちらも乗車人員数は増加しています。（図3）